

(公財)北海道サッカー協会 都道府県審判トレセン ユース3級審判員研修会②

オホーツク地区ユース3級審判員 高久誠弘

・期 日 2026年3月19日(木)～3月21日(土)

・会 場 伊達まなびの里サッカー場(伊達市)

・参加者

2級審判員(1名)3級審判員(7名)4級審判員(1名)インストラクター(6名)

・研修内容

1日目(19日) 19:30～21:30

講義① 未来のトップフェリーに贈る、実践と思考のフレームワーク(岸本INS)

講義② 北海道ユース審判員普及・育成プロジェクト(古曾部INS)

報告書会 全国研修派遣審判員による報告会(鈴木陽和氏・沼田翔氏)



2日目(20日)

9:00～16:00 実技① プレーシーズンマッチ伊達スプリングフェスタ



20:00～21:30

講義③ 審判スキルの向上とその意義ユース審判員だからできるチャレンジ[主審のポジショニングから考える](工藤INS)

講義④ サッカーレフェリーのフィジカルについて(岡田INS)

3日目(21日)

9:00～13:00

実技② プレーシーズンマッチ伊達スプリングフェスタ(岡田INSによるw-up)



INSからのアドバイス(実技)

- ・より良いポジショニングを取るためにスタートダッシュをもっと素早く行う。
- ・センターライン内のステップワークを意識する。
- ・PK失敗時の確認を副審と事前にしておく。
- ・距離く角度を意識したレフェリングを行う。
- ・無駄なスプリントを無くし、予測やステップワークで補う。

## 感想

昨年につき、2度目の参加となった今回のユース3級審判員研修会②では、1年間積み重ねてきた経験をどれだけ発揮できるかをテーマに臨みました。研修会では岡田渉INSによるw-upの効果や手順、元国際審判員の大岩真由美さんからの言葉である"誰にでもチャンスは訪れ、そのチャンスを掴むこと"の大切さを学ぶ事ができました。実技では沢山の課題点を見つけられた事が今後の審判活動をしていく上で大きな収穫となりました。しかしながら、去年この研修会に参加させて頂いた時と比べて"できること"が確実に増えており、同時にこれらを当たり前にしていく必要があると感じた研修会になりました。

最後に今回一緒に活動してくれたユース審判員やインストラクターの方々、試合会場を提供して頂いたチーム関係者の皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

